

# お知らせ

記者発表資料	平成28年 8月31日
配布日	

同時発表先：岡山県政記者クラブ  
岡山市政記者クラブ  
倉敷市記者クラブ

## 台風の到来に備えて、吉井川・旭川・高梁川の 堤防点検を実施します。

岡山河川事務所は、岡山三大河川（吉井川・旭川・高梁川）のうち、岡山市・倉敷市などの人口、資産が集中し、河川のはん濫により甚大な被害が発生する恐れのある県南の平野部区間の河川管理を担当しています。

本格的な台風期到来に備えて、岡山河川事務所職員、防災エキスパート、河川維持業者により、堤防等河川管理施設に異常が発生していないかを、RMDIS(リマディス(タブレット端末))を活用して点検を実施します(概要は【別添】を参照)。

なお、堤防点検の結果は、岡山河川事務所ホームページにて掲載いたします。

【ホームページアドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>】

◆旭川水系 平成28年 9月 5日(月) 9:15~17:00

※出発식을9:15から河川敷(旭川)で実施します(【位置図】を参照)

◆高梁川水系 平成28年 9月 7日(水) 9:30~17:00

◆吉井川水系 平成28年 9月12日(月) 9:30~17:00

【前回点検時の様子(H28.4)】



出発式



点検の状況



小動物による穴

<問い合わせ先>

■国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 086-223-5101 (代表)

【担当】 副所長(技術) 後藤 誠志 (内線 204)

管理第一課長 安達 淳 (内線 331)

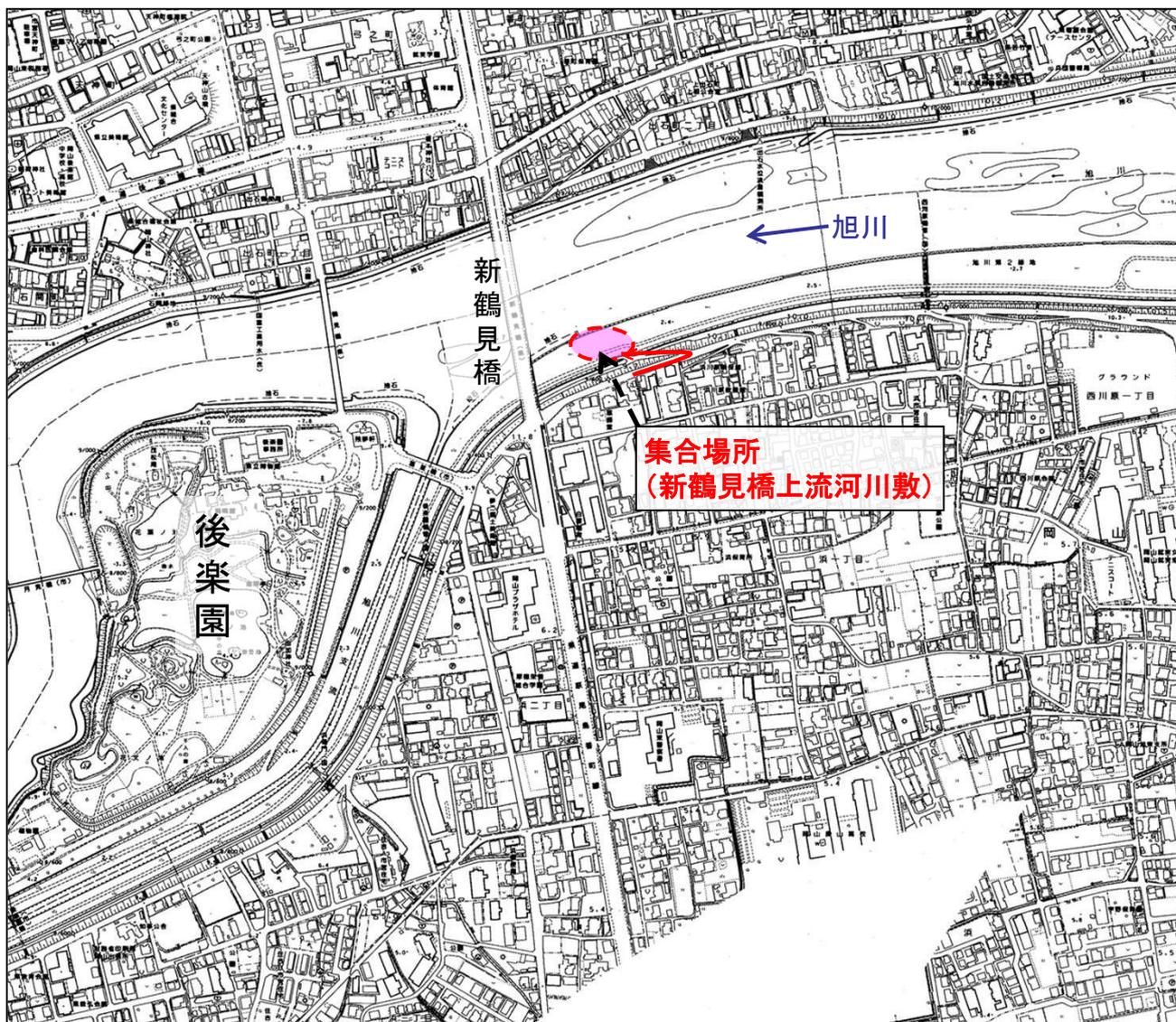
岡山河川事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

【位置図】

# 取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、**平成28年9月5日(月)9:15**から参加者による出発式を実施しますので、それまでに下記場所(河川敷)に集合をお願いします。なお、出発式では事務所長が挨拶をする予定です。



## 【別紙】

### ○台風期点検

本格的な台風期到来に備えて、吉井川・旭川・高梁川の国管理区間を対象として、岡山河川事務所職員・防災エキスパート・河川維持業者により、堤防に穴や亀裂、緩み、崩れなどの異常が発生していないか、樋門等に異常が発生していないか点検を実施します。異常が確認された場合には、速やかに処置を行います。

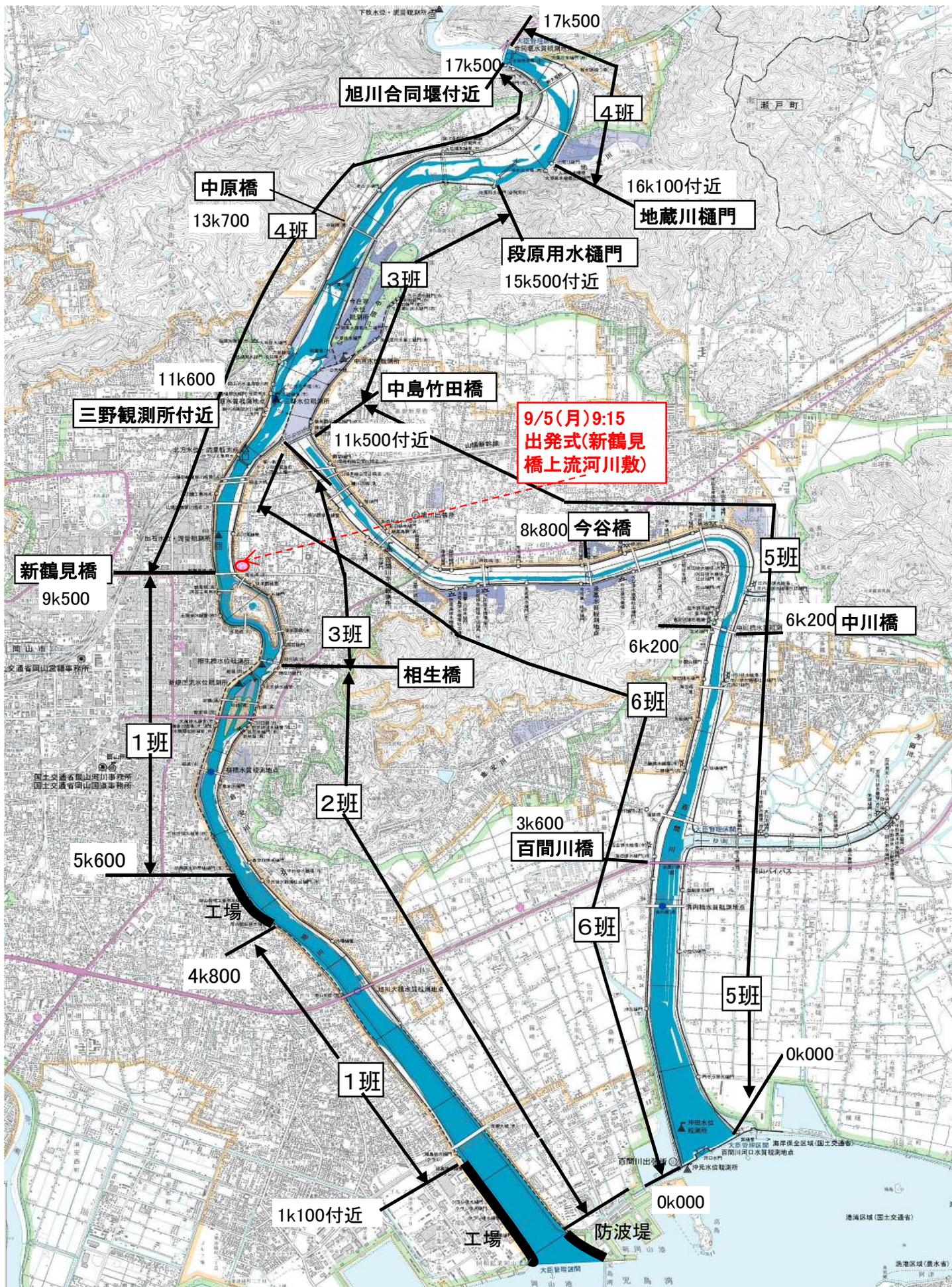
### ○点検参加者

吉井川・旭川・高梁川で延べ、岡山河川事務所職員 50 人、防災エキスパート 9 人、河川維持業者 13 人、計 72 人の参加により点検を予定しています。

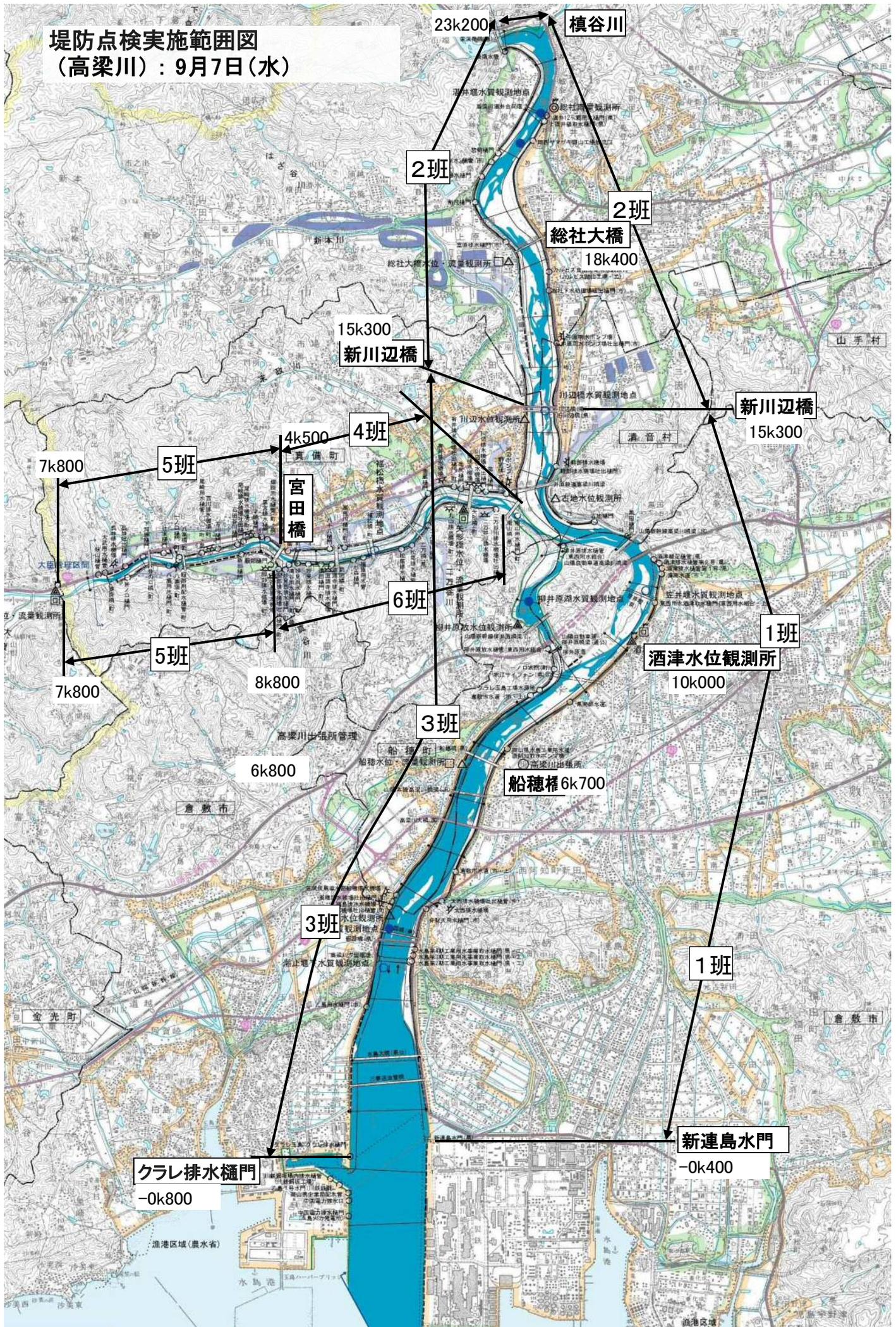
### ※防災エキスパート

「阪神・淡路大震災」を教訓に、地震・風水害などの大規模災害時に、被災した公共施設等の被災情報の収集などをボランティアとして行う「防災エキスパート制度」が創設されました。

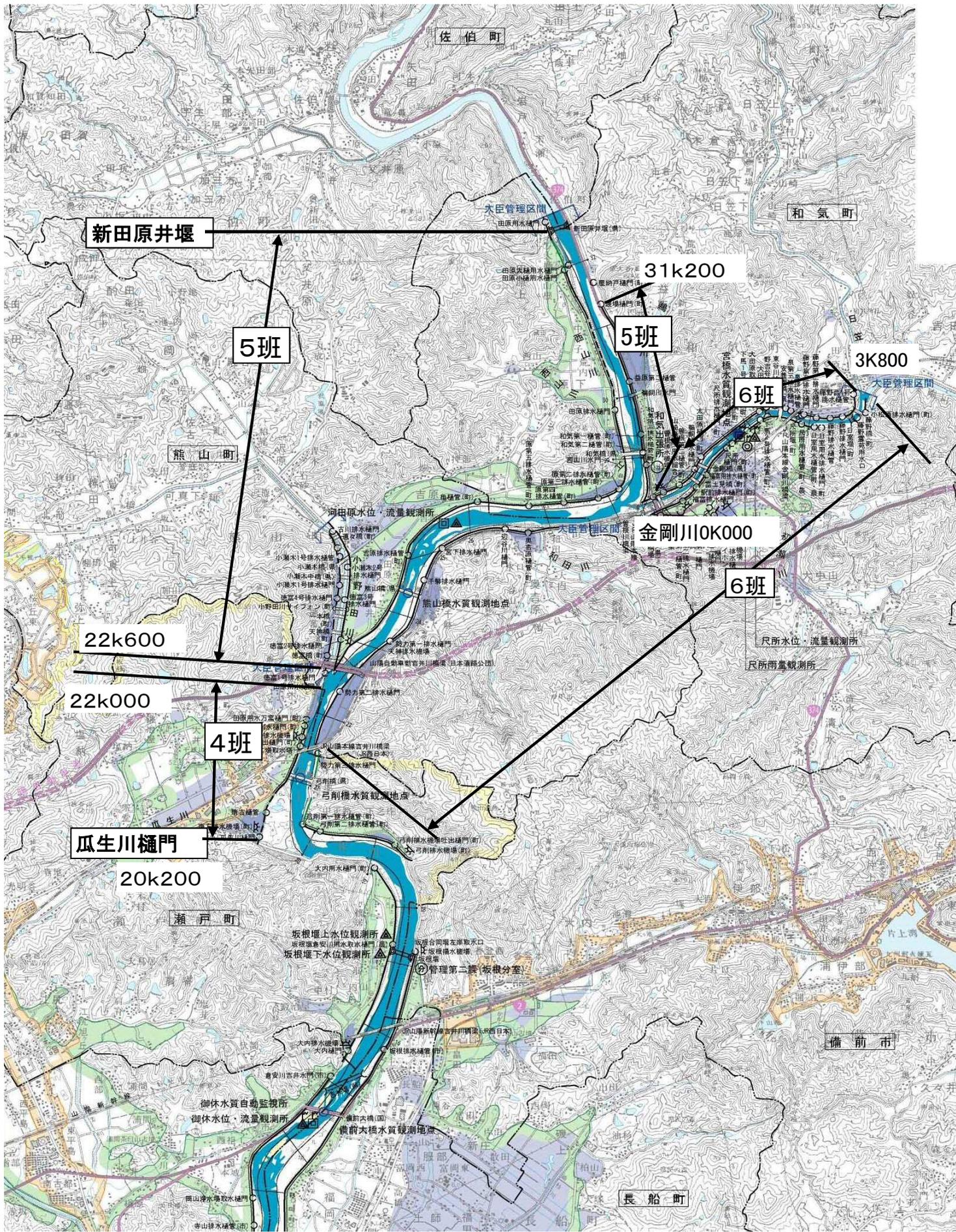
# 台風期の堤防点検 実施範囲図(旭川・百間川) : 9月5日



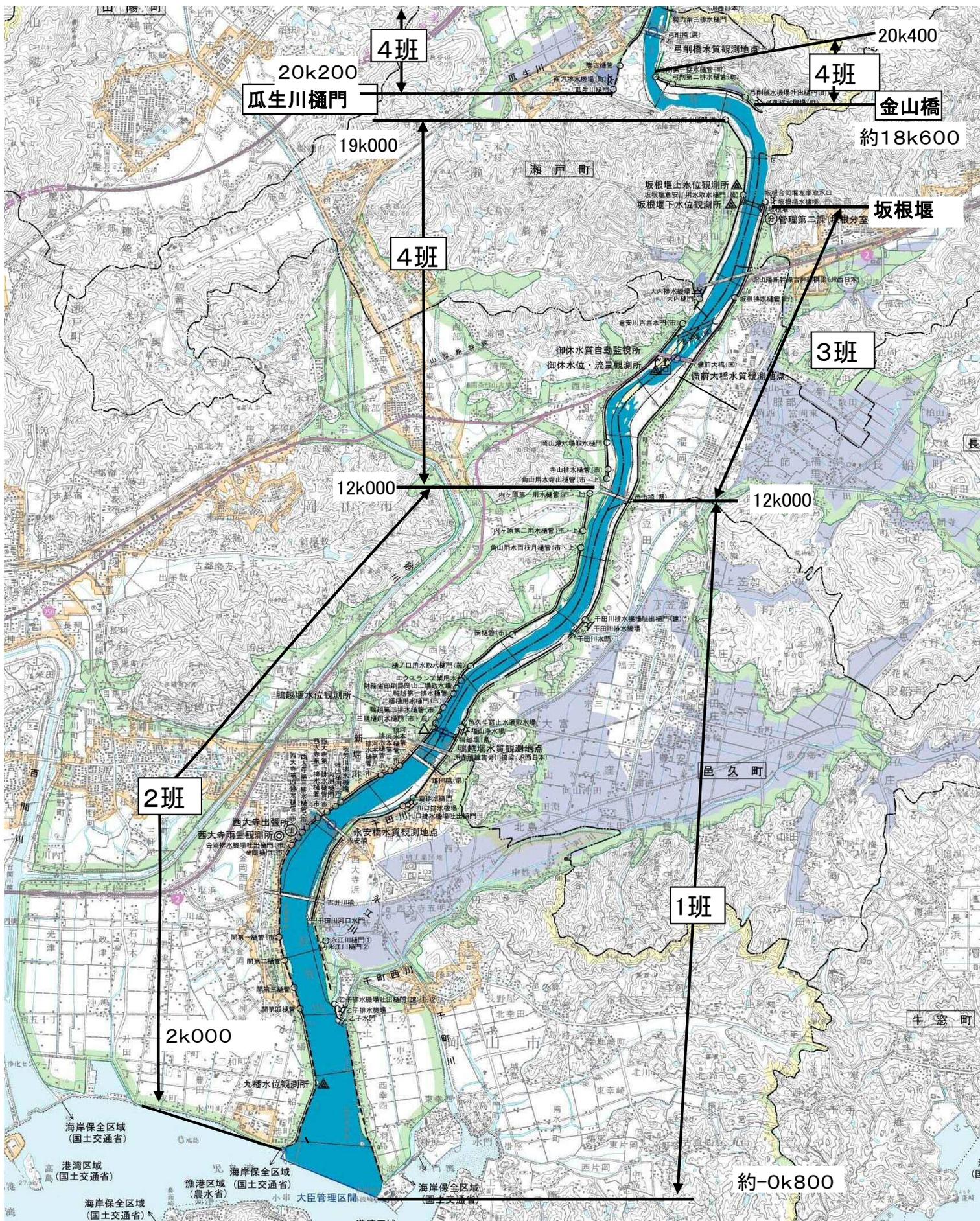
堤防点検実施範囲図  
(高梁川) : 9月7日(水)



# 台風期前の堤防点検実施範囲図(吉井川上流)：9月12日(月)



# 台風期前の堤防点検実施範囲図(吉井川下流)：9月12日(月)



# RMDISの概要

【別添】

## ●RMDIS(リマディス)とは

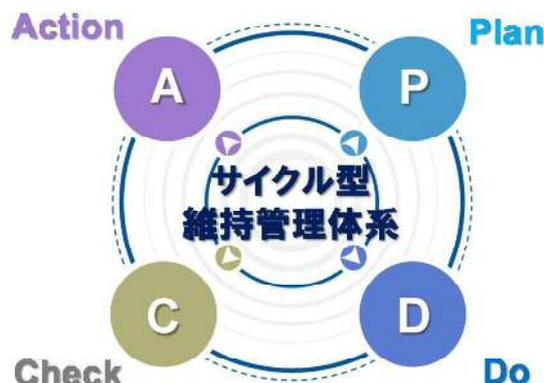
RMDIS = River Management Data Intelligent Systemの略称



河川維持管理業務を支援する仕組みである河川維持管理DBシステムの  
全国統一版をRMDISと呼ぶ。

## ●RMDISの目的

- ① 河川維持管理の現場における河川維持管理業務を**着実に、かつ効率的に行うための業務支援**。
- ② 現場での河川維持管理のPDCAサイクルによる**スパイラルアップの支援**、及びこれに基づく**技術基準やマニュアル類の充実**など、業務の高度化のための**知見の効率的な集積**。
- ③ 河川維持管理の政策の企画立案に資する基礎的な**情報収集の効率化と適切な管理**。



# RMDISの概要

## ●RMDISの導入により期待される効果

### 現場

**タブレットの導入により、現場監視行為を効率化・高度化**

- ① 地図の活用やGPSによって位置情報を把握しながら、的確な周辺状況把握。
- ② 過去の記録や記録項目、関連情報を確認しながら、的確な現場記録を支援。
- ③ 記録と関連付けて写真を撮影。取得データをもとに簡易に日報等を作成。

### 事務所 出張所

**維持管理に係るデータの一元管理により、所内の日常業務を効率化・高度化**

- ① 台帳や河川カルテを共有化。蓄積したデータをもとに随時更新が可能。
- ② 適宜分析・評価を実施。河川管理レポート等のとりまとめや意思決定を支援。
- ③ 日常業務に係るデータを簡易に検索・確認。探しものに要する時間を軽減。



現場



事務所・出張所

RMDIS  
導入



現場



事務所・出張所